

ナイトフライヤー



ボクの中はまるで真夜中の暗闇で もう何も感じないのに

それでもここにいるボクの ないはずの全てを
わかっているはずの無を 認めないで





悪い

待たせた

ウウン


終わったの？

ん
ああ



冷えたら

ごめんな



ああ
またおまえ
ぶつけて

あ

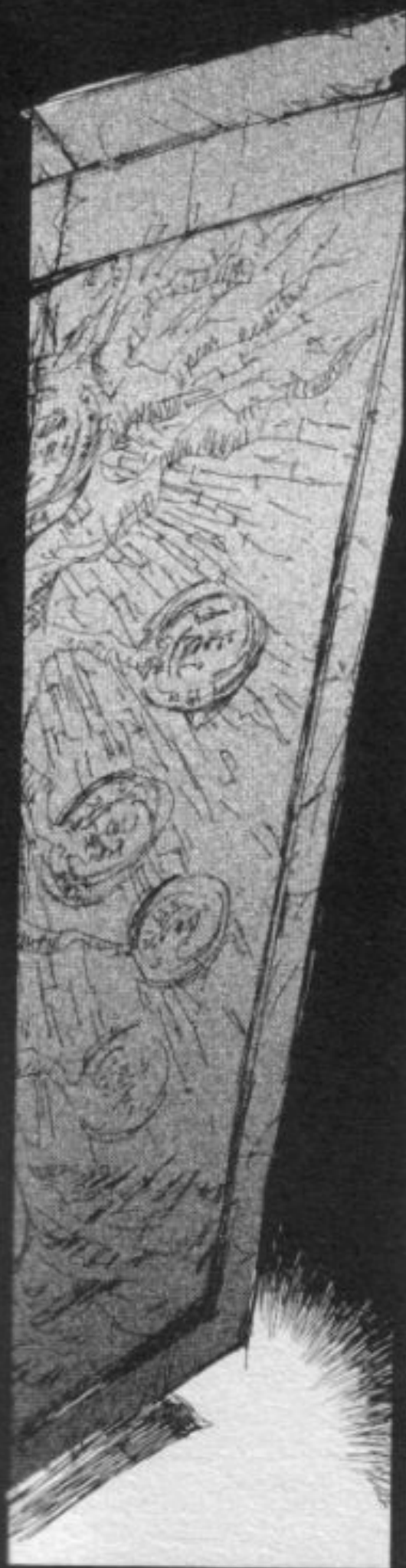
ホント

ちよつと
がまんしててな



呪いのようだった

ナイトフライヤー





母さん…



母さん



アルっ…!!

くそ

離せ！

これ以上
もっていかれて
たまるかよ！

ちようだい

畜生！！

アル！

アルツ！！

どこにも
ないんだ



その体を

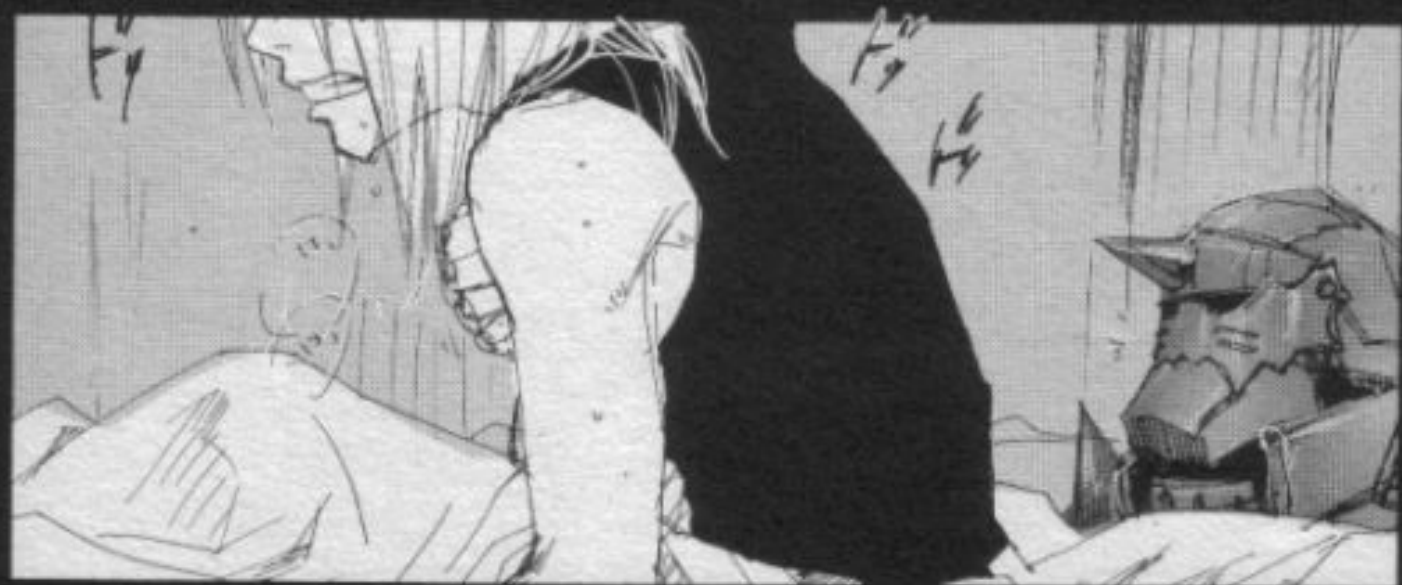
ちようたり



にいさん

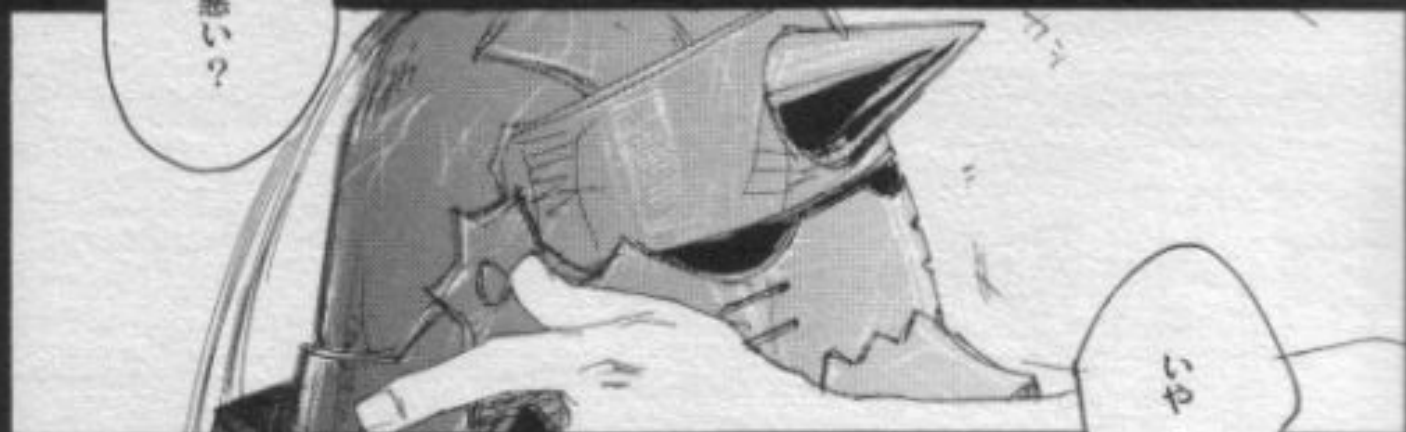


ア、





臭合悪い？



こういうときのいさんは

喉の奥でごめんなって何度も言っている

夢を見たのかな



夢ってどんなだっけ?



眠るってどんなだっけ



起きるってどんだけ





なんでおまえ、
ベッド……

……

ベッド
壊れちゃうよ
さっき変な音
したもん



え？

あぐり



よし



……どうも……

ん

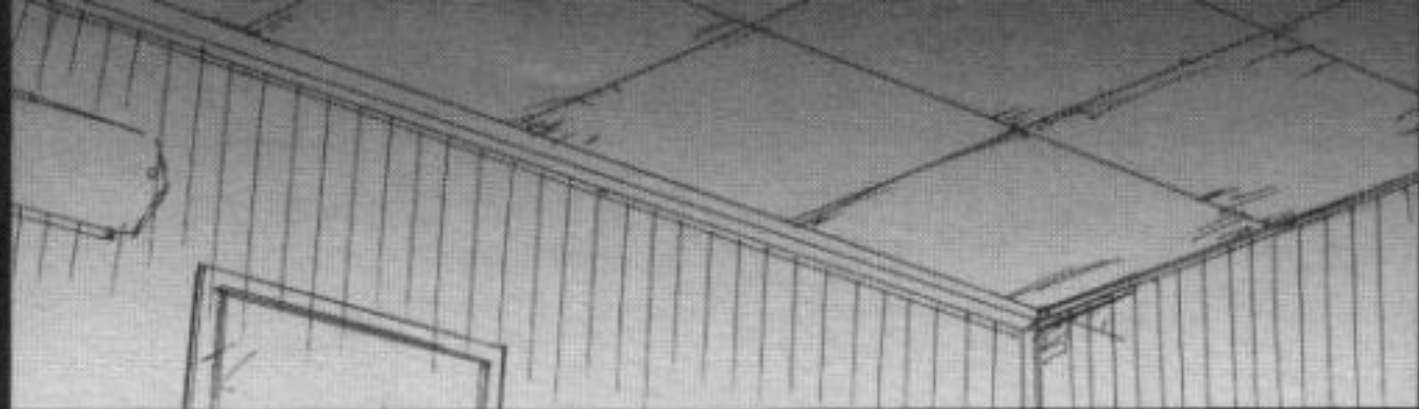


……どうも……

体痛く
ならない？




ん




明け方のつんと澄んだ空気の 夜気に冷えた薄い酸素の
もやのかかった下草の朝露の 霧にカッコウの鳴く声の






母さんが
歌ってた歌

よく
おぼえてんな



ボクのが
寝つき悪かった
からね

兄さんすぐ
寝ちやうから
おぼえてないん
でしょ



なんだそりや



.....
暗いな




夜だからね



暗くて寒い

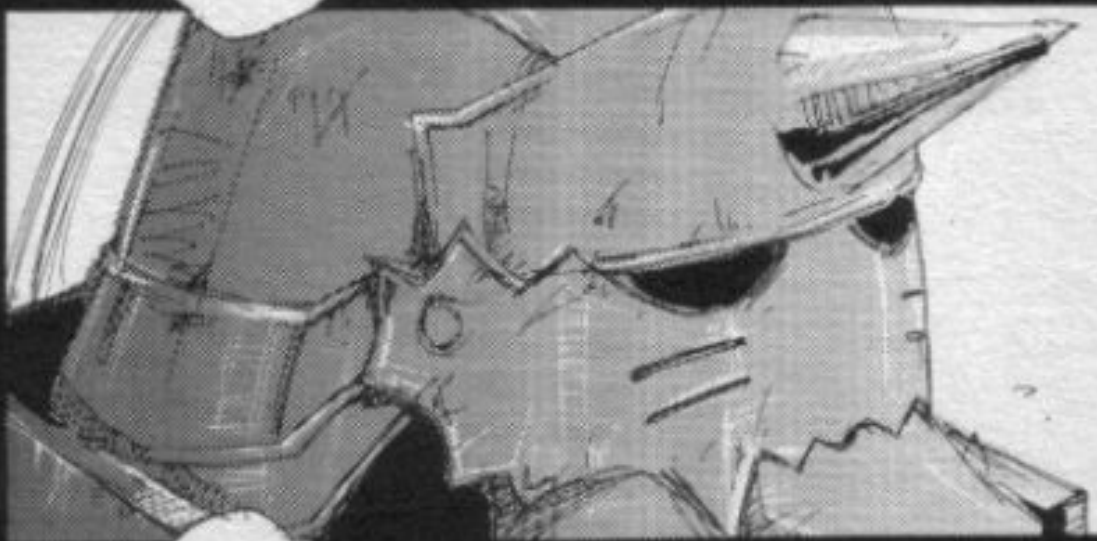


ウン
昼間
晴れてた分ね




ボクの毛布
使いなよ

いや




ボクの中から
冷たくない？



.....
つめたくねえよ

そう

よかつ




足痺れたら
言えな


暗いね



ああ、



もうすぐ
明けるよ



それまで
ねむりなよ
兄さん



夜明け前の空が一番暗くて ボクは少し安心する

からっぽの鎧の中と同じ闇が世界に広がって
心も体も暗闇に融けてどこにもなくなってしまいそうなのに

ボクはここにいるかな
夜はもうすぐ明けるかな



49

やみのなかで ボクはどこにもいない

.....
静かな音



49



きこえるよ やみのなか



ほら ほら 朝だよ

The Cuckoo

Cuckoo, cuckoo,
welcome thy song!

Winter in going,
Soft breezes blowing,

Spring time,
spring time, soon will be here.

